

がん教育実施報告書

学校名	福島県立勿来工業高等学校
実施対象者 (学年・保護者など)	3学年 全クラス (計4学級)
教育課程の位置づけ	体育・保健体育 道徳 学級活動・HR活動 講演会・行事 その他 ()
実施日時	令和 6年 12月 13日 (金) 13:45 ~ 14:30
打合せについて	【1回目】方法: メール 内容: 日程調整
	【2回目】方法: 来校 (対面) 内容: テーマや内容、配慮事項等
外部講師 職・氏名	職名 特定非営利活動法人がんピアネットふくしま理事 氏名 箭内 明美
実施内容	<p>講演会テーマ『がんとわたし』～サバイバーシップ～</p> <ol style="list-style-type: none"> がん、がんサバイバー、がんサバイバーシップとは 自己紹介 がん体験談 <ul style="list-style-type: none"> 講師ご自身の体験をもとに、宣告されたときの思い、家族に伝えることや将来への不安、治療の苦労や一生続く後遺症、外見の喪失感等、当事者の辛さや周りの辛さを知ることができた。 がんピアサポートサロンとの出会い <ul style="list-style-type: none"> がんへの不安、治療の辛さなどを堂々と話すことができ、分かち合える場があることが理解できた。また、がんサロンのネットワークは福島県全体に広がっており、困った時には相談できる場所があることを知ることができた。 がんの予防について <ul style="list-style-type: none"> がんを予防、早期発見するためには正しい生活習慣を身に付けること、定期的ながん検診を受けることが大切であることを改めて確認することができた。また、「がん患者＝生活習慣が悪い」という考えは誤った認識であり、がんには様々な原因が考えられることを知ることができた。 がんの正しい情報の収集とがんと共生について <ul style="list-style-type: none"> インターネット上にはがんに関する正誤様々な情報が氾濫している。そのため、国立がん研究センター情報サービス等、正しい情報源から情報得ることが大切であることを理解できた。また、現在は2人に1人が生涯でがんになると言われており、がんと共生者は増えていること、また自身ががんになった時には相

談できる場所があり、身の周りの人ががんになった時はいつもと変わらず思いやりをもって接することなど今後の生徒の人生において、大切なことを学ぶことができた。



成果等

1 講師とのやり取り、内容について

- ・ 講師の方には打ち合わせの時から丁寧な説明とご対応をいただき、ご配慮いただきたい点についても快くご承諾いただいた。講演内容も大変わかり易くまとめていただき、事前にメールで確認もさせていただいた。

2 生徒からの感想等

- ・ 実際にがんを経験した方の話を聞くことができ、がんと戦った日々やつらい思いをされたことを知ることができ、がんと戦っている人への接し方を考える機会になりました。
- ・ がんピアサポートサロンについて知ることができた。がんに関わる人々が集まって支えあっていることがとても印象に残りました。
- ・ 身近でがんになった人がいるので、接し方を知ることができました。また、自分自身ががんにならないように今からできる生活習慣の改善や検診を受けることを積極的にやっていきたいと思いました。